

第18回「VIVA JUDO！」杯 小学生団体戦及び小学1・2年生個人戦柔道大会 要項

1. 目的 柔道の基本技能を正しく修得させるとともに、柔道の試合を通じて心身の鍛錬及びその技能を磨き、明るく、正しく逞しい少年の健全育成を図る。また、将来を担う少年の相互親睦を図ることを目的とする。
2. 主催 公益財団法人 東京都柔道連盟
3. 企画・運営 株式会社 吉田企画
4. 後援 公益財団法人全日本柔道連盟、東京都教育委員会、公益財団法人東京都スポーツ協会、関東柔道連合会
5. 日時 令和6年10月27日（日）
個人戦（1～2年生）試合開始 9時30分
団体戦開会式・個人戦表彰式 11時30分

<開場>（予定） 監督・選手 8時00分～ 観客 監督・選手入館次第
6. 会場 東京武道館 大武道場 〒120-0005東京都足立区綾瀬3-20-1 TEL 03(5697)2111
7. 試合種目 団体戦（小学3～6年生）及び個人戦（小学1～2年生）
8. 参加資格 ① 団体戦
(1) 小学3年生以上の男女で出場チームから全柔連登録をしていること。
(2) 監督は全柔連公認指導者資格（C指導員以上）が有効で資格登録が完了していること。
(3) 出場は、同一団体から2チームまでとする。
※ 監督の兼務は問わない。但し、試合中の監督席には必ず監督或いはコーチが着き、試合中の負傷等、起こり得ることに対応可能なこと。
※ チーム・監督・コーチ・選手は全柔連登録が完了していること。
※ 同団体から2チーム出場する場合は申し込み時のチーム名末尾にA・Bと表記すること。
例) 東京都柔道クラブA ・ 東京都柔道クラブB
② 個人戦
(1) 小学1,2年生の男女で出場チームから全柔連登録をしていること。
(2) 事故防止のため、休業期間おおむね6ヶ月以上で受身を修得済の者とする。
9. チーム編成 団体戦
(1) チームは全柔連登録でチームIDを持ち、その団体登録が完了していること。
(2) 1チームの編成は、監督1名・コーチ1名・選手5名とする。（コーチのエントリーは任意）
(3) 選手の編成は大将・副将は6年生、中堅は5年生、次鋒は4年生、先鋒は3年生とする。
その学年の選手がいない場合は1学年下の選手をエントリーすることができる。
但し、先鋒には適用しない。（2年生以下の出場は不可とする。）
(4) 選手は学年順に配列し同学年内は大将側から体重の重い順に配列すること。

10. 試合方法

① 団体戦

- (1) 試合はトーナメント戦で行う。
- (2) 各チーム5名の点取り対抗戦とする。
- (3) トーナメント戦の勝敗の決定は次による。
 - ア. 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - イ. ア で同等の場合は、「一本」（それと同様の勝ちを含む）による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - ウ. イ で同等の場合は、「技あり」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - エ. ウ で同等の場合は、代表戦を1回行い、必ず勝敗を決する。出場する選手は「引分け」であった対戦の中から1試合を抽選で選出する。

② 個人戦

- (1) 試合は、学年別・男女別・体重別のトーナメント戦で行う。
- (2) 体重区分は負傷事故防止のため、申込書に記入されている選手の体重をもとに申込状況に応じて振り分ける。

11. 審判規定

① 団体戦

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定及び国内における「少年大会特別規定」で行う。
- (2) 試合時間は、1回戦～準々決勝戦まで2分間とし、準決勝戦・決勝戦は3分間とする。代表戦についても、それぞれ2分間及び3分間とする。
- (3) 勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「僅差」とする。「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（技あり）がない、又は同等の場合、「指導」差が2あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。得点差がなく、かつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。但し、代表戦の場合は旗判定で必ず勝敗を決する。（GSは行わない。）

② 個人戦

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定及び国内における「少年大会特別規定」で行う。
- (2) 試合時間は2分間とする。
- (3) 勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「僅差」とする。「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（技あり）がない、又は同等の場合、「指導」差が2あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。得点差がなく、かつ「指導」差が1以内の場合は旗判定で必ず勝敗を決する。（GSは行わない。）

12. 表彰

① 団体戦

- (1) 優勝・準優勝・第3位（2チーム）の計4チームを表彰する。
- (2) 参加選手全員に参加賞を授与する。

② 個人戦

- (1) 各種別、優勝・準優勝・第3位（2名）の計4名を表彰する。
但し、出場選手数により変更する場合がある。
- (2) 参加選手全員に参加賞を授与する。

13. 参加申込 (1) 申込期間 令和6年8月21日（水）～9月11日（水）
(2) 申込方法
申込用紙を東京都柔道連盟のホームページよりダウンロードし必要事項を入力しExcelデータのまま、下記アドレスまで送信すること。
入力された内容をプログラムや各種データに反映するため申込内容を十分に確認すること。 *PDFでの送信は認めない。
※ 同団体から2チーム出場する場合は申し込み時のチーム名末尾にA・Bと表記すること。
例) 東京都柔道クラブA ・ 東京都柔道クラブB
※ 東京都柔道連盟から「申込受付完了」のメールを1週間程度で送信します。
※ 迷惑メールの対策などでドメイン指定を行っている場合、メールが受信できないことがありますので、「@tojuren.or.jp」を受信設定してください。
- (3) 申込先アドレス : moshikomi@tojuren.or.jp
(4) 参加費 無料
(5) 問い合わせ先 公益財団法人東京都柔道連盟
メール : tojuren@tojuren.or.jp / TEL : 03-3818-5639 または 080-3505-4985
14. 選手変更 団体戦のみ
(1) 申込み後の選手変更は原則として認めない。
(2) 負傷等で止むを得ず選手変更を行う場合は、下記期日までに変更手続きを行うこと。
変更期間 10月18日（金）正午まで
変更方法 新たな選手を含め再配列（同学年内は大將側から体重の重い順とする）し、選手変更フォーマットに入力の上、メールにて提出してください。
送信先アドレス : moshikomi@tojuren.or.jp
※期日以降の選手変更は如何なる理由でも認めない。
(3) 変更期日以降に欠場者が出た場合は直ちに申し出ること。選手の補充・変更はできません。
なお、選手欠場の場合は申出のオーダーそのまま不戦敗とする。
(4) 当日負傷等によって出場できなくなった場合は欠員のままとする。
(5) 大会中の負傷等により不戦敗となった選手は、以後の試合には出場できない。
15. 組み合わせ ①組み合わせ
令和6年9月25日（水）東京都柔道連盟が行う。
②ホームページへの掲載（予定）
令和6年9月27日（金）
16. 保険 (1) 主催者が参加者全員に対して傷害保険の加入手続きを行い、その費用を負担する。
尚、万が一の事故発生に備え、参加者各人が別途傷害保険に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
(2) 大会中の不慮の事故・疾病については応急処置を施すとともに、傷害保険の範囲内で責任を負うものとする。
(3) 大会当日、参加者は健康保険証を必ず持参すること。
17. 柔道衣 原則として柔道衣の袖・裾の折込みは禁止とする。ただし、成長期を考慮し、今大会に限り5cm・一折りまでの折込み可。また、前合わせについては十分な重なりがあること。
認証柔道衣の使用は義務付けない。但し、製造者マークについては全柔連の規程を遵守する。
*肩に三本線の入ったアディダスの柔道衣は認めない。

- 18.ゼッケン 参加選手は着用する柔道衣に規定の大きさのゼッケンを正しく縫い付けること。
ゼッケンを付けていない選手は出場できない。

図1 ゼッケンの縫付方

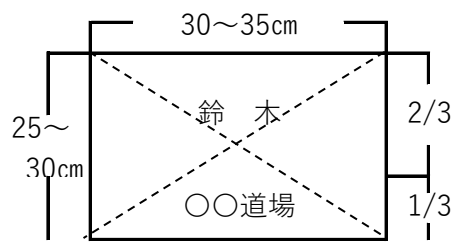
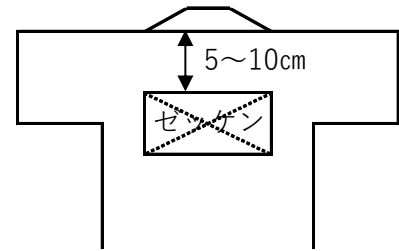


図2 ゼッケンの縫付位置



- (1) 所属名は『申込み団体名』（省略は可）とする。
※同団体から2チーム出場の場合も「A」「B」の表記は不要とする。
- (2) チームに2名以上同じ名字（姓）の場合は、名前の一字以上を加える。
※性別が異なる場合は不要。
- (3) 図2の位置に強い糸で縫い付ける。対角線（ --- の部分）も必ず縫い付けること。
- (4) 名字（姓）は上側2/3、出場するチーム名は下側1/3。
- (5) サイズは概ね横30cm～35cm、縦25cm～30cm。
- (6) 布地は白色(晒・太綾)とし、書体は太いゴシック体または明朝体(楷書)で、男子は黒文字、女子は赤文字とする。

19. 各種対応について

- (1) 脳震盪対応について

選手および指導者は下記事項を遵守すること。

- ①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け出場許可を得ること。
 - ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
 - ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - ④当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し書面により事故報告書を提出すること。
- (2) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は大会への出場ができない場合もある。

20. その他

- (1) 個人情報、肖像権の取り扱いについて

申込用紙(Excel)に入力された個人情報や競技結果・大会中に撮影された写真または動画等の映像が、大会プログラム・掲示物・大会ホームページ・都柔連Facebookに掲載される場合があります。また、その他報道機関等により新聞、雑誌、テレビ及び関連ホームページ等に公開される場合があります。

大会時に撮影する映像を、審判員および指導者の技能向上のための研修会資料として使用する場合があります。

- (2) 選手の宿舍及び大会当日の昼食は各自で用意すること。また、宿舍の幹旋は行わない。
- (3) 監督・コーチは、審判員に準じた服装(背広・ネクタイ着用)とする。

(白のワイシャツ、グレー又はダークカラーのスラックス、女性はこれに準ずる服装) 監督の服装については厳しく注意させていただきますので予めご了承ください。